

婦人科に通院中の（または過去に通院・入院されたことのある）患者さん
またはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 再発リスクを有する子宮頸がんに対する術後補助療法に関する調査研究

[研究機関] 北海道大学病院婦人科

[研究責任者] 渡利 英道 （婦人科・講師）

[研究の目的] 再発リスクのある子宮頸がん IB- IIB 期について、手術後の補助療法（化学療法、放射線療法など）の結果を検討し、子宮頸部非扁平上皮がんに対する術後補助療法の現況を把握するとともに、術後補助療法の治療効果を扁平上皮がんと比較検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2004 年から2008 年の間に、小細胞癌と未分化癌を除く子宮頸部非扁平上皮がんおよび扁平上皮がんIB- IIB 期で、広汎子宮全摘出術を受けた方。

●利用するカルテ情報

- a. 患者さんの背景：年齢、組織型、進行期、手術日、術後補助療法開始日、術後補助療法終了日、初回再発日、再発部位、治療経過確認日、治療経過
- b. 再発リスク：腫瘍径、リンパ節転移（骨盤内、傍大動脈節）、傍結合組織浸潤、頸部間質浸潤（1/2 を超える）、脈管侵襲、体部浸潤、腹水細胞診、卵巣転移
- c. 術後補助療法：術後補助療法の有無、術後補助療法の詳細

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院婦人科 担当医師 渡利 英道

電話 011-706-5941 FAX 011-706-7711